

横須賀市中小企業景況レポート

第34号（令和3年4月号）

編集・発行：横須賀市経済部経済企画課
〒238-8550 横須賀市小川町11
電話 046-822-9523

市内中小企業の景況感を調査しました。

調査対象は、かながわ信用金庫と湘南信用金庫が従来から行っている景況調査先のうちの市内企業に加え、横須賀市及び横須賀市産業振興財団がさらに追加調査しました。

3か月に1回発行しています。

【市ホームページ（下記）からもご覧いただけます。】

[横須賀市中小企業景況レポート | 横須賀市](http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4402/keikyoureport/yokosukasikeikyuripoto.html)

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4402/keikyoureport/yokosukasikeikyuripoto.html>

- ① 調査対象：市内中小企業
- ② 調査企業数：171社（うち、かながわ信用金庫＋湘南信用金庫 調査158社）
- ③ 調査期間：前期・・・令和2年10～12月の景況感（調査時点 令和2年12月1日）
　　今期・・・令和3年1～3月の景況感（調査時点 令和3年3月1日）
　　次期・・・令和3年4～6月の景況感（調査時点 " ）
- ④ 調査項目：景況、売上額、収益、雇用人員、資金繰り
- ⑤ 業種分類：製造業、建設業、卸・小売業、不動産業、サービス業
- ⑥ 集計方法：DI値算出による（次ページにDI値の説明あり）

景況及び4項目の調査結果（全業種）

*DI値調査結果は裏面に記載

*【】は今期のDI値を記載

全業種の景況感は、前期の△36Pから変わらず、今期も【△36P】となりました。

今期は、卸・小売業【△29P】、サービス業【△57P】がそれぞれ13P、15P改善しましたが、建設業【△26P】、不動産業【△47P】は、それぞれ13P、32Pと大幅に悪化し、引き続き厳しい状況です。

項目別では、すべての項目で横這いの状況です。

昨年同期（令和元年1月～3月）の景況感比較は、「悪い」が5割を占めています。

DI 値・・・良い（多い）、変わらない（普通）、悪い（少ない）の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い（多い）等の構成比（%）－悪い（少ない）等の構成比（%）を計算した値が DI 値となります。プラス値が大きいほど景況感が良く（好況）、マイナス値が大きいほど景況感が悪い（不況）と言えます。

このレポートは次の基準で景況感を分類しました。（マイナスは△表示）

良い (15P 以上)	やや良い (6P~14P)	変わらない (△5P~5P)	やや悪い (△6P~△14P)	悪い (△15P 以下)
↑	↗	→	↘	↓

業種別 調査結果と事業者の声

*DI 値調査結果は裏面に記載

*【 】は今期の DI 値を記載

(1) 製造業 景況感 【△30P <悪い> ↓】 (前期比△9P)

前期と比べ、売上【△25P】、収益【△28P】、雇員人員【△11P】が、それぞれ 18P、12P、10P と大幅に改善しましたが、資金繰り【△14P】がやや厳しい状況です。

☆事業者の主な声☆

- ・受注は回復傾向であるが、完全な回復には至っていない。工場の稼働日数を減少させて効率的な事業活動を行えるよう心掛けている。受注回復傾向にあることから、今年は前年のような落ち込みはないと見込んでいる。
- ・コロナ禍で売れ行きを伸ばしている電化製品や機械に、当社の加工部品が使用されているため、受注が増加して業況は良好である。

(2) 建設業 景況感 【△26P <悪い> ↓】 (前期比△13P)

前期と比べ、売上額【△35P】が、19P と大幅に悪化しましたが、雇員人員【△23P】は、10P 改善しました。

☆事業者の主な声☆

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、現場中止や工期延長が目立っていたが、現在は動き出している。しかし、資金繰りは厳しく工事単体の利益率も低いのが現状である。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響から落ち込んだ受注は、徐々に持ち直しつつあるが、コロナ禍前の水準まで戻らないとみている。

(3) 卸・小売業 景況感 【 △29P <悪い> ↓ 】 (前期比 13P)

景況感の改善の伴い、前期と比べ売上額【△27P】、収益【△23P】は、それぞれ8P、13P改善しました。

☆事業者の主な声☆

- ・緊急事態宣言の再発令で、学校・企業等がリモート通学・通勤になり、来店客数が減少。客単価も減少した。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響が拡大した当初は売上が低下したものの、現在は各取引先からの受注も再開して業況は回復傾向にある。
- ・巣ごもり需要から小売りの顧客は増加しており、堅調に推移している。

(4) 不動産業 景況感 【 △47P <悪い> ↓↓ 】 (前期比△32P)

景況感の悪化に伴い、前期と比べ売上額【△40P】、資金繰り【△13P】がそれぞれ11P、13Pと大幅に悪化しました。

☆事業者の主な声☆

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けて売上減少しているものの、横須賀市内の不動産市況は徐々に回復している。緊急事態宣言が解除になれば、顧客からの物件問合せや内覧が増加することが見込まれる。
- ・不動産売買は少しずつ動き始めている。早期売却を目指し、販売価格に関しては、ある程度柔軟に対応していく方針。

(5) サービス業 景況感 【 △57P <悪い> ↓↓ 】 (前期比 15P)

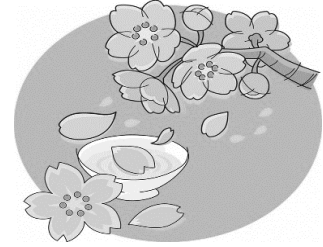
業況は依然として厳しいものの、前期と比べ、すべての項目で改善しました。特に売上額【△48P】は22Pと大幅に改善しました。

☆事業者の主な声☆

- ・昼営業の客足は戻ってきているが、コロナ禍による時短営業実施のため、夜営業の客足は、ほぼゼロである。コロナ禍による時短営業がなくなれば、少しずつではあるが客足も戻ってくると予想している。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響および緊急事態宣言による時短営業の影響は大きい。テイクアウト等を行っているが、思ったほどに売上は伸びていない。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響が少しずつマイナスに響いてきて、急ではないが長期的に苦しくなりつつある。飲食業および関連企業だけでなく、全般的に苦しくなっている。

DI 値 調査結果

前 …前期 令和2年10月～12月の景況感(調査時点 令和2年12月1日)
 今 …今期 令和3年1月～3月の景況感(調査時点 令和3年3月1日)
 次 …次期 令和3年4月～6月の景況感(調査時点 令和3年3月1日)



業種別調査企業数(回 業種別調査企業数(回答数))

(単位:社)

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	159	33	31	45	14	36
今期	171	36	34	49	15	37
次期	171	36	34	49	15	37

(単位:ポイント)

業種 項目	全業種			製造業			建設業			卸・小売業			不動産業			サービス業		
	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景況	景況全般について総合的な概況をお聞きました。																	
良い(A)	16	13	10	21	17	14	29	12	6	9	18	12	21	0	13	6	8	5
変わらず	32	38	48	37	36	39	29	50	56	40	35	51	43	53	67	16	27	38
悪い(B)	52	49	42	42	47	47	42	38	38	51	47	37	36	47	20	78	65	57
DI値(A)-(B)	△36	△36	△32	△21	△30	△33	△13	△26	△32	△42	△29	△25	△15	△47	△7	△72	△57	△52
今-前 / 次-今	0	4		△9	△3		△13	△6		13	4		△32	40		15	5	
売上額	製造業については、生産品を出荷した額をお聞きました。																	
好転(A)	15	16	13	15	19	19	29	15	9	9	20	12	21	7	20	8	11	11
変わらず	30	34	47	27	37	39	26	35	53	47	33	51	29	46	53	14	30	38
悪化(B)	55	50	40	58	44	42	45	50	38	44	47	37	50	47	27	78	59	51
DI値(A)-(B)	△40	△34	△27	△43	△25	△23	△16	△35	△29	△35	△27	△25	△29	△40	△7	△70	△48	△40
今-前 / 次-今	6	7		18	2		△19	6		8	2		△11	33		22	8	
収益	売上から経費を引いた収益状況をお聞きました。																	
増加(A)	13	15	12	12	14	14	19	18	6	4	18	14	29	7	27	11	11	8
変わらず	37	39	49	36	44	47	36	35	53	56	41	53	21	60	46	22	30	41
減少(B)	50	46	39	52	42	39	45	47	41	40	41	33	50	33	27	67	59	51
DI値(A)-(B)	△37	△31	△27	△40	△28	△25	△26	△29	△35	△36	△23	△19	△21	△26	0	△56	△48	△43
今-前 / 次-今	6	4		12	3		△3	△6		13	4		△5	26		8	5	
雇用人員	需要に対応できる労働状況をお聞きました。																	
多い(A)	6	9	9	9	17	11	6	9	12	7	6	6	0	0	0	3	8	11
適正	66	67	69	61	55	58	55	59	59	69	72	80	86	87	80	69	73	73
少ない(B)	28	24	22	30	28	31	39	32	29	24	22	14	14	13	20	28	19	16
DI値(A)-(B)	△22	△15	△13	△21	△11	△20	△33	△23	△17	△17	△16	△8	△14	△13	△20	△25	△11	△5
今-前 / 次-今	7	2		10	△9		10	6		1	8		1	△7		14	6	
資金繰り	資金繰りが上手く行っているかを判断するためお聞きました。																	
余裕がある(A)	10	13	10	9	11	11	16	12	6	13	18	16	7	7	7	3	14	5
支障がない	67	59	61	73	64	61	55	62	62	65	55	55	86	73	80	69	48	60
苦しい(B)	23	28	29	18	25	28	29	26	32	22	27	29	7	20	13	28	38	35
DI値(A)-(B)	△13	△15	△19	△9	△14	△17	△13	△14	△26	△9	△9	△13	0	△13	△6	△25	△24	△30
今-前 / 次-今	△2	△4		△5	△3		△1	△12		0	△4		△13	7		1	△6	

<参考> 昨年同期と現在の景況感比較(回答159社)

	企業数	今期構成比	(参考) 前期構成比
昨年と比べ「景況感」は良い(A)	20社	13%	11%
昨年と比べ「景況感」は変わらない、横ばい	56社	35%	26%
昨年と比べ「景況感」は悪い(B)	83社	52%	63%
DI値(A)-(B)		△39P	△52P

